

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： 環境管理センター

	組織目標	達成状況(成果)
教育	1 環境、安全に関する教育資料の発行及び見直しを行う。 2 実験、実習等を始める学生に対して学部、学科に出向き環境安全教育を実施する。 3 新入学生に「安全・環境ガイドブック」を配布し、安全と環境に関するマインドを持つ学生を育てる。 4 学内構成員及び一般市民に対して公開講演会、種々の講習会を実施し、環境問題とその解決策について考える機会を提供する。	① 環境、安全に関する教育資料の英訳版原稿を作成した。 ② 実験、実習等を始める学生に対して、4月・5月及び10月・11月に12回（延べ人数617人）の環境安全教育を実施した。 ③ 「安全・教育ガイドブック」を見直し改訂し、平成22年度入学生全員へ配布した。 ④ 平成21年6月に「持続可能な社会におけるエネルギーのあり方」と題した環境管理センター公開講演会を開催した。また、平成22年1月に地球温暖化対策に関するイベントを開催した。
	達成度： ④ 3 2 1	
研究	1 環境関連の各自の専門分野で、基盤的及び実用的な研究を推進する。また研究成果を関連学会での発表及び論文等で公表する。 2 センター教員の個別研究を進展するため、外部資金の獲得と研究基盤の充実に努める。 3 大学等環境安全協議会等への参加、学外施設の見学等を行い、環境・安全に関する情報を調査・研究するとともに、本学における環境・安全対策を充実させる。 4 前年度の研究活動実績を「環境制御」に掲載し公表する。	① 各教員の環境関連の専門分野等で、基盤的及び実用的な研究を推進した。さらに、その研究成果を関連学会での発表及び論文等で公表している。 ② 各教員の個別研究を推進するため、科学研究費補助金への応募をはじめ各種学術助成に応募し、外部資金を獲得し、分析機器および分析室の整備充実に努めた。 ③ 「大学等環境安全協議会」等への参加、他大学の視察等を行い、化学物質管理状況、環境・安全に関する情報について広く調査・研究を行った。 ④ 「環境制御31号」を平成21年12月に発行し、前年度の研究活動実績及びセンター活動状況について公表した。
	達成度： 4 ③ 2 1	
センター業務	1 環境マネジメント委員会の方針に基づき、学内の環境マネジメントの充実・進展を図る。 2 実験系有害廃棄物の適正管理及び処分、廃棄物の発生抑制、再資源化及び減量化の推進、有害物質の汚染防止に関する業務を推進する。 3 化学物質の適正管理の強化と化学物質管理システムの見直し及び普及に努める。 4 省資源、省エネルギー、温暖化対策を引き続き実施する。 5 大学広報誌である「環境報告書」を企画し、関連部署と共同で作成する。	① 環境マネジメント委員会を6回開催し、地球温暖化対策に関する実施基本計画及び同基本計画に基づく行動計画を策定した。また、本学の省エネルギーに関する規程を見直し、「エネルギーの使用の合理化に関する規程」を制定した。 ② 実験廃液の適正な管理及び処理に関する技術指導員講習会を2回実施した。また、平成20年度の廃棄物処理量を集計し、環境管理センターのHPに公開するとともに、⑤の環境報告書に掲載し、廃棄物の発生抑制、再資源化の推進に関する啓発を推進した。 ③ 化学物質管理規程に基づき、化学物質による事故防止及び安全確保並びに適正な管理を進めるため、化学物質管理責任者向け説明会及び化学物質取扱・保管責任者向け説明会を、9月及び10月に実施した。また、同規程に基づき全部局を対象に、10月～12月に化学物質の管理状況に関する監査を実施した。化学物質管理促進法（PRTR法）に基づき化学物質取扱量を集計して報告した。 環境マネジメント委員会化学物質管理検討ワーキンググループを設置し、今後の化学物質管理について検討を行った。 ④ 地球温暖化防止対策に関する啓発ポスター及びステッカーを作成し、全学に配布するとともに、標語の募集並びに「不都合な真実」の映画上映会を開催し、学生及び教職員の啓発活動を実施した。 ⑤ 「環境報告書」の企画、立案及び編集作業のリーダー役を務め、平成21年9月に公表した。
	達成度： 4 ③ 2 1	
社会貢献	環境に関する市民参加の講演会を開催する。	① 平成21年6月に「持続可能な社会におけるエネルギーのあり方」と題して、環境管理センター公開講演会を開催し、一般市民等57名を含む145名の参加者があった。 平成22年1月に地球温暖化対策に関するイベントを開催し、一般市民9名を含む133名の参加者があった。
	達成度： 4 ③ 2 1	
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。 目標は、ほぼ達成できた。 化学物質の適正管理、地球温暖化対策、省エネルギー対策など教育、啓発を通じて引き続き推進していく。		

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)